

第13回 美里夏まつり

8月15日(火)



花火大会

猪俣の百八燈行事 午後6時40分～
花火打ち上げ 午後7時30分～

伝統をつなぐ

国指定重要無形民俗文化財
猪俣の百八燈

40年以上受け継がれていると伝わる盆祭りの行事「猪俣の百八燈」
今まで花火大会の前になんとなく見ていた人も多いいのではないのでしょうか。今年は少し「猪俣の百八燈」のことを知ってから花火大会に出かけてみませんか。
猪俣地区は、平安時代末から鎌倉時代にかけての武将、猪俣小平六いほまた へいろうの地であり、百八燈行事は小平六とその一族の霊をなぐさめるために始まったと伝えられています。

行事は、猪俣地区内の満6歳から満18歳までの青少年が、親方・次親方・後見・若衆組・子供組に分かれて行事の一切を取りしきり、大人の介入がないのが特色です。準備も、道こさえ・草刈り・塚築き・人別集めなどがあり、いずれも親方の指示に従って子供たちが行います。行事当日の夕刻、高台院から力強い寄せ太鼓の音が鳴り響くと関係者一同が集合してきます。空が暗闇に変わった頃、いよいよ百八燈行事の本番が始まります。猪俣氏の霊に礼拝後、笛・太鼓の拍子に合わせた提灯行列が塚のある堂前山へと向かいゆるやかな行列です。

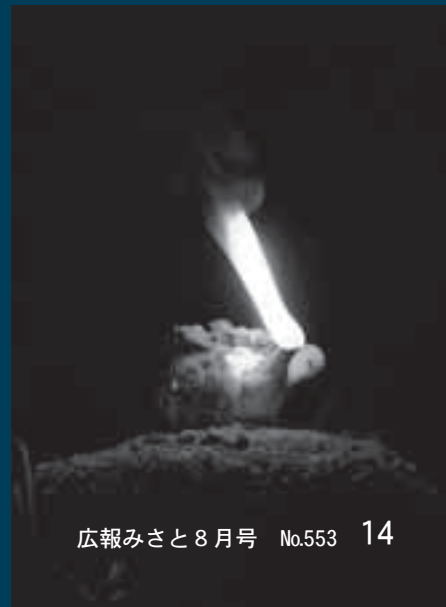
かな坂道を登って行き、塚に火を灯します。この光景は、遠目には「狐の嫁入り」と錯覚するような幻想的な行列です。

猪俣の百八燈は、各地で行われる盆の百八燈行事の中でも百八の塚を築いたその上で火をたく点が異色であり、亡魂をなぐさめるという目的と相まって塚信仰の特徴を良く示しています。

想いをつなぐ

百八燈行事のあとに行われる美里夏まつり花火大会では、堂前山の尾根に浮かぶ百八の灯とあわせて、数千発もの大輪の花々が夜空を鮮やかに彩り、毎年たくさんのお客さまで盛り上がります。県内の花火師が腕を競って開催されるスターマインコンクールは、多彩な演出がほどこされていて見どころ満載です。
また、花火大会では「記念花火」を募集していて、お子さんやお孫さんの誕生祝いやご先祖さまの供養など、様々な想いをのせて打ち上げています。

人々の想いをつなぐ数千発の花火が今年も盛大に打ち上がります。ぜひ、家族、友人などと一緒にお越しください。



問合せ 美里町観光協会事務局 (農林商工課 産業振興係)
☎ 76-5133